

# Journal of ISOM Japan

国際東洋医学会日本支部会誌

## 第 33 回国際東洋医学会理事会報告

名古屋市立大学 まきの としあき 牧野 利明



前列左から3人目が、新事務総長に選出された 宋 美徳 先生

国際東洋医学会（International Society of Oriental Medicine, ISOM）第33回定期理事会が、2019年6月16日（日）に韓国・ソウルの韓医師会館のISOM本部で開催されました。日本からは、元雄 良治 会長、吉富 誠 理事長、牧野 利明 日本支部事務局長・副事務総長をはじめ、永井 良樹、宮崎 瑞明、山下 仁の各国際理事と、欠席した理事の代理として、津谷 喜一郎 前日本支部事務局長が出席しました。

この会議での大きな議題は2つで、空白となっていた事務総長の選出と、次回の第20回学術総会（International Congress of Oriental Medicine, ICOM）の準備状況についてです。

ニューズレター前号で報告したとおり、昨年11月で退任した李 應世 前事務総長の後任として韓国支部から推薦された宋 美徳 大韓韓医師協会副会長は、あまりの性急な提案だったために前回の理事会では承認されませんでした。この間、韓国支部からは、履歴書や今後の抱負などの文書が国際理事内で回覧され、宋 先生が事務総長としてふさわしい人物であることをアピールしてきました。前回の理事会ではひと言も発言しなかった宋 先生は、今回の理事会では今後の抱負について演説し、ようやく本人からの意思を表明しました。日本支部として

は、韓国から選出されていた前副事務総長の李 鐘安 先生がこれまでの経験から事務総長としてふさわしいと考えているものの、大韓韓医師協会からのサポートを確認出来たことから、韓国支部が強く推薦する人物に対して強く反対することを避け、採決時には「保留」を表明しました。その結果、台湾支部の賛成も得て、宋 先生が事務総長として選出されました。今後は、元雄会長と連携を取って、学会運営をサポートしてくれることを期待します。

次に、次回の第 20 回 ICOM は、2020 年 10 月ごろに、韓国は慶州コンベンションセンターを会場に、"Transnationalism in Traditional East Asian Medicines"（仮題）を大会テーマに開催される予定であることが報告された。"Transnationalism"の用語を初めて聞く理事が多かったため、その意味についての討論がありました。トランスナショナリズムとは、それぞれの国民国家が各自の利益を追求していくことにより、人類の平和、安全、繁栄などの価値が最高度に実現されるとするナショナリズムに対して、そのような国民国家体系はまさにそうした価値の実現を阻害するという考えのことだそうです（ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典）。世界の国々における相互依存関係が増大している今日では、特に経済面、文化面におけるトランスナショナルな活動が顕著になっており、東アジア伝統医学についても例外ではないことから、次の大会テーマとしてふさわしいとのこととなり、本テーマが承認されました。

なお、詳細な日程の決定は遅れているとのことで、会員の皆様には、決まり次第、お知らせさせていただきます。

## 人参養栄湯シンポジウム開催案内

国際東洋医学会日本支部では、人参養栄湯に関するシンポジウムを開催します。このシンポジウムは、これまでの人参養栄湯に関する諸研究や症例報告を総括し、人参養栄湯の全体像を、伝統医学と現代医学の双方向から明らかにし、さらなる臨床応用に資することを目的としています。

期日：2019 年 12 月 1 日（日）9:30 受付開始、10:00 開催～16:00 終了

当日参加費：学会員 2000 円、非学会員 4000 円、抄録集：500 円

場所：仙台市医師会館（〒984-0806 仙台市若林区舟丁 64-12）

地下鉄南北線/仙台駅より富沢方面行…約 5 分 河原町駅下車、北出口より徒歩 3 分  
タクシー/仙台駅より…約 10 分（約 2km）

共催：国際東洋医学会日本支部、東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科

プログラムとして、以下のような内容を予定しております。詳しくは、国際東洋医学会日本支部ホームページ（<http://plaza.umin.ac.jp/~ISOMjpn/>）をご覧ください。

**第 1 部：人参養栄湯の歴史的背景** 10:05～10:25 演者：加島 雅之（熊本赤十字病院）

**第 2 部：現代医学における人参養栄湯の立ち位置** 10:25～10:35 演者：高山 真（東北大学）

### 第3部：人参養栄湯の臨床的エビデンスの構築に向けて 10:35～11:55

1. 悪性腫瘍患者の放射線照射に伴う白血球減少および自覚症状に対する人参養栄湯の有効性の検討  
演者：大川 智彦（佐野市民病院）
2. C型慢性肝炎のインターフェロン・リバビリン療法における人参養栄湯の貧血改善効果  
演者：元雄 良治（金沢医科大学）
3. フレイルに対する人参養栄湯の臨床研究  
演者：向坂 直哉（さきさかクリニック）
4. アルツハイマー病の認知機能、うつ症状に対する人参養栄湯の効果  
演者：工藤 千秋（くどうちあき脳神経外科クリニック）

#### 【ランチョンセミナー（12:05～13:00）】

認知症の高齢者と漢方 ～尊厳ある生を支えるために～：大澤 誠（大井戸診療所）

### 第4部：人参養栄湯の基礎研究のエビデンス 13:10～14:30

1. 人参養栄湯のがん悪液質に対する効果  
演者：大澤 匡弘（名古屋市立大学神経薬理学分野）
2. 人参養栄湯の記憶障害モデルにおける研究  
演者：江頭 伸昭（九州大学病院 薬学研究院臨床薬物治療学分野）
3. 人参養栄湯の抗がん剤による神経障害性疼痛モデルにおける研究  
演者：牧野 利明（名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野）
4. 人参養栄湯の抗がん剤による血液障害モデルにおける研究  
演者：高野 文英（日本薬科大学薬学部）

### 第5部：人参養栄湯のベストケーススタディ、副作用ケース 14:35～15:20

1. 漢方薬治療が奏効した広範な咽頭血管奇形の1例  
演者：小川 恵子（金沢大学）
2. 漢方治療が奏効したと思われる肺 *Mycobacterium fortuitum* 感染症の1例  
演者：野上 達也（富山大学）
3. 漢方薬治療が奏効した全身性サルコイドーシスの1例  
演者：杉野 圭史（東邦大学）

### 第6部：総合討論 15:25～15:55

総合司会：安井 廣迪（安井医院）



# 韓医薬博物館見学記

事務局長 まきの としあき  
牧野 利明



国際理事会に出席するためにソウルを訪問した際に、2017 年秋にリニューアルオープンしたソウル薬令市韓医薬博物館を見学してきました。本博物館は、ソウル地下鉄1号線、祭基洞（チェギドン）駅の近く、ソウルにおける生薬市場である薬令市場入口の、道路を挟んだビルの地下にありましたが、2017 年に薬令市場の中心部に移転、韓国の伝統建築様式・韓屋造りの3階建てのビル、「ソウル韓方振興センター」の2階フロアにあります。韓医学の歴史から、生薬標本の展示、ジオラマを使った往時の生薬採取、加工、流通に関する展示、韓医学での鍼灸に関する展示と、『東医宝鑑』に基づく四象医学に関する展示がありました。ハングル文字のみの展示もありましたが、生薬名はハングルと漢名と英語名表記があり、モニタを使った電子展示では日本語、中国語、英語を選択できる設定となっていたので、外国人でも楽しく学べる工夫がなされていました。

韓医薬学に関する博物館は、ソウル地下鉄9号線、加陽（カヤン）駅から徒歩15分ほどの距離にある許浚（ホジュン）博物館と、大邱市にある「薬令市韓医薬文化館」が有名でしょうか。後者は行ったことがないので、2020年のICOMの時に立ち寄りたと思います。

Journal of ISOM Japan 2019 No. 1

発行日 2019年7月20日

編集者 ニューズレター編集委員会

発行者 大山雅義

発行所 国際東洋医学会日本支部 (ISOM Japan)

## 国際東洋医学会日本支部

ISOM Japan

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

名古屋市立大学薬学部生薬学分野内

TEL&FAX 052-836-3416

E-mail: [isomjapan@gmail.com](mailto:isomjapan@gmail.com)

ウェブサイト <http://isomjpn.umin.jp/>